



JFE

JFEグループ インベスターズ・ミーティング

2025年2月6日

JFEホールディングス株式会社

- **業績ハイライト**
 - **JFEグループ 業績の状況**
2024年度第3四半期決算・業績見通し
 - **配当について**
 - **事業会社別 業績の状況**
2024年度業績見通し
 - **来期以降に向けて**
 - **トピックス**
- 参考資料① 財務関連データ・損益分析他
参考資料② 事業環境指標他

本資料は当社の2024年度第3四半期の業績の状況について一般に公表するために作成された資料であり、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、日本国、米国又はそれ以外の一切の法域における有価証券への投資に関する勧誘を構成するものではありません。提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



業績ハイライト

JFE

- 製造トラブルの影響やグループ会社の収益悪化、および海外事業損失織込み、棚卸資産評価差損等により、**当期利益は950億円の見込み**(対前年度▲1,024億円、対前回公表▲350億円)。
- 年間配当は、前回公表通りの**100円**を見込む。

2024年度
3Q決算

3Q累計事業利益 1,207億円 (対前年同期▲1,242億円)

※棚卸資産
評価差等除き

2,077億円 (対前年同期▲392億円)

事業利益 1,150億円 (対前年度▲1,832億円、対前回公表▲450億円)

※棚卸資産
評価差等除き

2,110億円 (対前年度▲852億円、対前回公表▲290億円)

当期利益 950億円 (対前年度▲1,024億円、対前回公表▲350億円)

棚卸資産評価差等除き

鉄鋼事業トン当たり利益 6千円/t (対前回公表▲2千円/t)

海外事業損失
▲200億円程度含む

単独粗鋼生産量 2,200万t程度 (対前年度▲145万t、対前回公表▲40万t)

年間配当 100円 (前回公表通り)、**中間配当50円** (前回公表通り)

2024年度
見通し

JFEグループ 2024年度 第3四半期決算



2024年度3Q決算

JFE

➤ **当期3Q累計事業利益は1,207億円**(対前年同期▲1,242億円)

* 棚卸資産評価差等除きでは対前年同期▲392億円

(億円)	2023年度 実績		2024年度 実績		増減 (対前年度)
	10月-12月	4月-12月累計	10月-12月	4月-12月累計	4月-12月累計
売上収益	12,891	38,657	12,246	36,754	▲1,903
事業利益 [棚卸資産評価差等除き]	806 [816]	2,449 [2,469]	388 [728]	1,207 [2,077]	▲1,242 [▲392]
金融損益	▲52	▲142	▲56	▲155	▲13
セグメント利益	753	2,307	331	1,052	▲1,255
個別開示項目	▲43	▲43	485	364*	407
税引前利益	709	2,263	817	1,417	▲846
税金費用・ 非支配持分帰属当期利益	▲181	▲634	▲241	▲416	218
当期利益	528	1,629	576	1,001	▲628

* 子会社の支配喪失に伴う損失▲131億円、減損損失▲44億円、京浜土地活用整備推進費▲49億円、土地売却益590億円

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの

事業利益(棚卸資産評価差等除き)：連結事業利益から、鉄鋼事業の棚卸資産評価差等を除いたもの

2024年度3Q決算 セグメント別

JFE

(億円)	2023年度 実績		2024年度 実績		増減 (対前年度)
	10月-12月	4月-12月累計	10月-12月	4月-12月累計	4月-12月累計
鉄鋼事業	9,156	27,814	8,289	25,582	▲2,232
エンジニアリング事業	1,363	3,848	1,524	4,219	371
商社事業	3,681	11,102	3,660	10,816	▲286
調整額	▲1,309	▲4,107	▲1,228	▲3,864	243
売上収益	12,891	38,657	12,246	36,754	▲1,903
事業利益(A)	806	2,449	388	1,207	▲1,242
金融損益(B)	▲52	▲142	▲56	▲155	▲13
鉄鋼事業	482	1,710	104	449	▲1,261
エンジニアリング事業	77	165	66	155	▲10
商社事業	117	385	136	360	▲25
調整額	77	46	24	86	40
セグメント利益(A+B)	753	2,307	331	1,052	▲1,255

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの



2023年度4-12月⇒2024年度4-12月

セグメント利益 ▲1,261億円内訳

JFE

	単位	2023年度 4-12月	2024年度 4-12月
単独 粗鋼生産量	万t	1,778	1,656
単独 出荷量	万t	1,573	1,453
鋼材 平均価格	千円/t	130.3	132.5
為替レート	円/ドル	142.9	152.3

			(億円)
JFEスチール	2023年度 4-12月	2024年度 4-12月	増減 対前年同期
セグメント 利益	1,710	449	▲1,261
棚卸資産評 価差等除き	1,730	1,319	▲411

1. コスト **+240**
 - ・ 構造改革効果 +240
2. 数量・構成 **▲360**
 - ・ 粗鋼 1,778万t→1,656万t
3. スプレッド* **+190**
 - ・ 原料物価変動の販価反映時期差
 - ・ 販価改善活動によりスプレッド改善
4. 棚卸資産評価差等 **▲850**
 - ・ 棚卸資産評価差▲320 (+20→▲300)
 - ・ キャリーオーバー影響▲570 (▲30→▲600)
 - ・ 為替換算差▲60 (+90→+30)
 - ・ 構造改革費用(一過性)+100 (▲100→±0)
5. その他 **▲481**
 - ・ Gr会社▲300

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド

JFEグループ 2024年度 業績見通し



2024年度 業績見通し

JFE

- 年間見通しは、**事業利益1,150億円**(対前回▲450億円、対前年度▲1,832億円)、**当期利益950億円**(対前回▲350億円、対前年度▲1,024億円)を見込む。

(億円)	2023年度 実績	2024年度 見通し(前回)	2024年度 見通し(今回)			増減 (対前年度)	増減 (対前回公表)
			年間	年間	年間		
	年間	年間	上期実績	下期見通し	年間	年間	年間
売上収益	51,746	49,700	24,507	24,493	49,000	▲2,746	▲700
事業利益 [棚卸資産評価差等除き]	2,982 [2,962]	1,600 [2,400]	818 [1,348]	332 [762]	1,150 [2,110]	▲1,832 [▲852]	▲450 [▲290]
金融損益	▲186	▲200	▲98	▲102	▲200	▲14	0
セグメント利益	2,796	1,400	720	230	950	▲1,846	▲450
個別開示項目	▲112	400	▲121	571	450*	562	50
税引前利益	2,683	1,800	599	801	1,400	▲1,283	▲400
税金費用・ 非支配持分帰属当期利益	▲709	▲500	▲174	▲276	▲450	259	50
当期利益	1,974	1,300	424	526	950	▲1,024	▲350

* 子会社の支配喪失に伴う損失▲131億円、減損損失▲60億円程度、京浜土地活用整備推進費▲49億円、土地売却益他650億円程度

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの

事業利益(棚卸資産評価差等除き)：連結事業利益から、鉄鋼事業の棚卸資産評価差等を除いたもの



2024年度 業績見通し セグメント別

JFE

(億円)

	2023年度 実績	2024度 見通し(前回)	2024年度 見通し(今回)			増減 (対前年度)	増減 (対前回公表)
			年間	年間	年間		
鉄鋼事業	37,160	34,600	17,293	16,507	33,800	▲3,360	▲800
エンジニアリング事業	5,399	5,800	2,695	3,105	5,800	401	0
商社事業	14,764	14,500	7,155	7,345	14,500	▲264	0
調整額	▲5,578	▲5,200	▲2,635	▲2,465	▲5,100	478	100
売上収益	51,746	49,700	24,507	24,493	49,000	▲2,746	▲700
事業利益(A)	2,982	1,600	818	332	1,150	▲1,832	▲450
金融損益(B)	▲186	▲200	▲98	▲102	▲200	▲14	0
鉄鋼事業	2,027	700	345	▲85	260	▲1,767	▲440
エンジニアリング事業	243	200	89	111	200	▲43	0
商社事業	489	450	224	226	450	▲39	0
調整額	35	50	62	▲22	40	5	▲10
セグメント利益(A+B)	2,796	1,400	720	230	950	▲1,846	▲450

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの

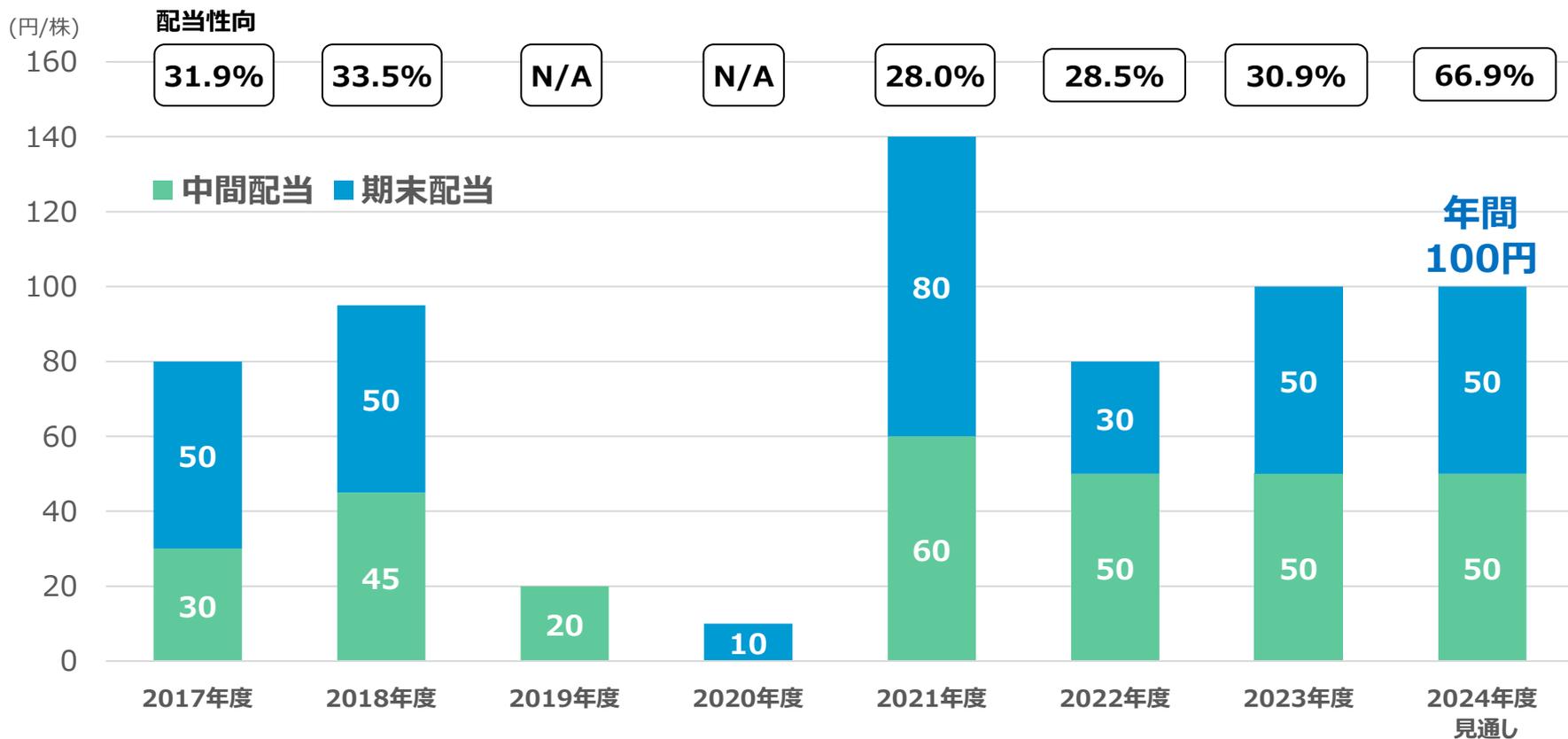
配当について



配当について

JFE

- 当期の期末配当については、**1株当たり50円**とする案を株主総会にお諮りする方針といたしました。（年間配当100円）



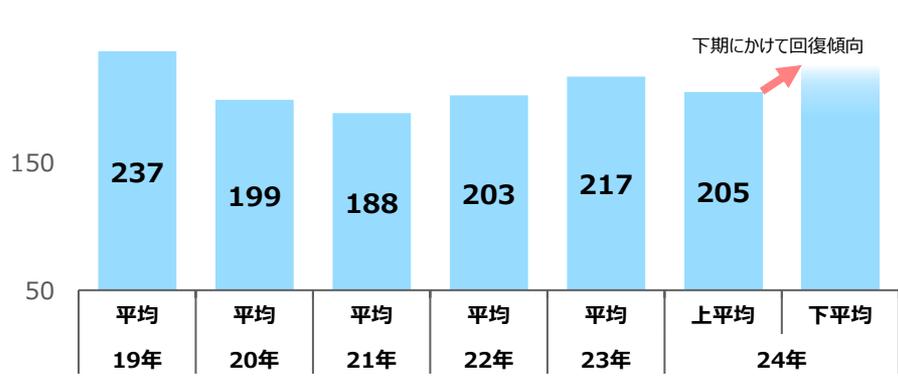
JFEスチール 2024年度 業績見通し

足元の事業環境認識（国内鋼材需要）



- 製造業向けは、引き続き**自動車分野**や**造船分野**が**需要を牽引**すると見込まれるものの、**25年度に向けて大きな伸びは期待しづらい**。
- 建設分野は、**建設コスト上昇・人手不足の影響**を背景に**低迷が続くもの**、**資材価格上昇スピードの鈍化**もあり、**底入れ気配**も感じられる。

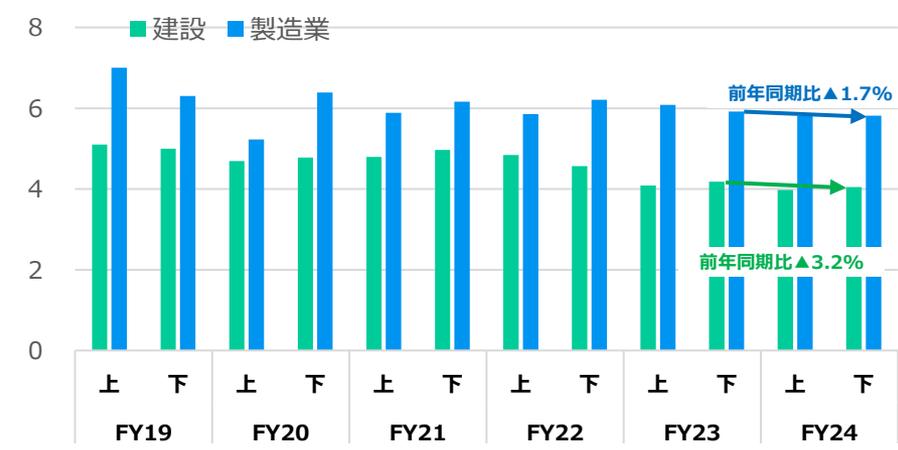
【自動車生産台数見通し/Q】 単位：万台



【分野別動向】

自動車	<ul style="list-style-type: none"> 品質・認証問題や台風の影響を受けた上期からは生産水準が回復。相対的に需要は安定的なもの、回復の頭打ち感も感じられる。
造船	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き堅調な需要環境にあり、国内造船各社は安定水準である約3年分の受注残を確保。一方、人手不足などを背景に建造ピッチが上がらない状況も続いており、短期的に鋼材需要の更なる伸びは見込みにくい。 各社の人手確保状況や生産効率化投資の動向を注視。
その他製造業	<ul style="list-style-type: none"> (建機) 欧州・アジア向けは引き続き軟調。米国向けは高金利影響に伴う住宅投資の減速感を受けて需要にブレーキがかかっており、在庫・生産調整が進む。 (産機) 中国の景気減速影響等で引き続き低調な環境。底打ちの観測も出ているが、現時点で目立った兆候はない。
建築	<ul style="list-style-type: none"> 資材高騰や人手不足の影響により、中小案件の低迷が続いているほか、再開案件等の大型案件でも需要の先送りが継続し、短期的な戻りは期待できないが、資材価格上昇については一服感が出ており、需要の底入れが期待される。 建設コストや金利の上昇等を背景とした建設投資・住宅取得マインドへの影響も懸念材料。
土木	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き高水準の予算措置がなされているものの、各種コストの上昇や人手不足等の影響を受け、24年度・25年度共に、実質的な活動水準や鋼材需要は漸減方向と想定。

【国内普通鋼 鋼材消費見通し/Q】 単位：百万トン



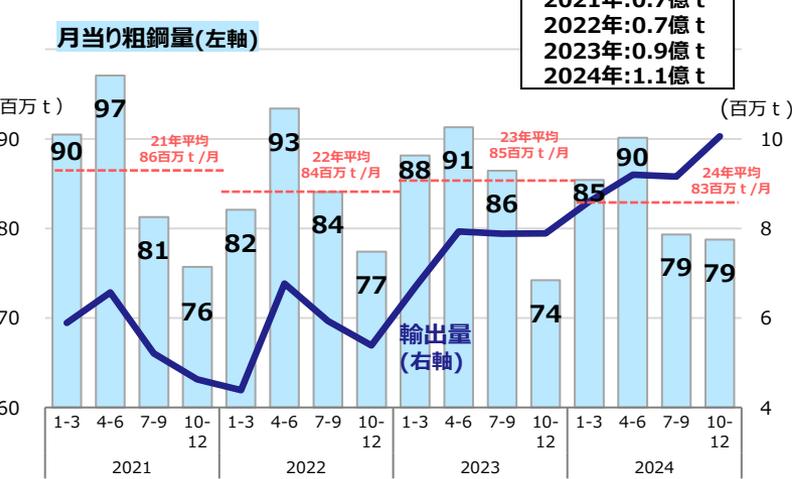
出典：経産省 12月26日発表 FY24上以降は推実

足元の事業環境認識 (海外鋼材需要)

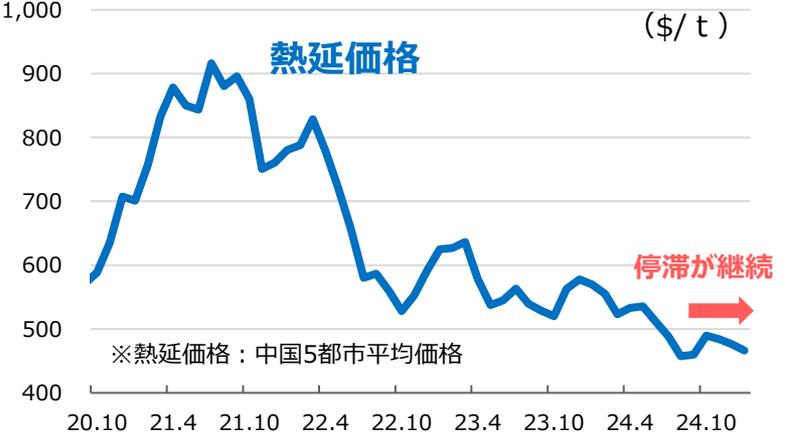


- 内需が低迷する中国における供給過剰と輸出増により、**鋼材需給の緩みや市況の停滞が継続**。
- 地政学的問題、保護的な動きを見せる各国の通商施策といったリスクへも注視が必要。

【中国 粗鋼生産・鋼材輸出量】



【中国鋼材市況】



【実質GDP成長率見通し (2024・2025暦年)】 (矢印は前回見通しからの変動)

	世界平均	米国	中国	インド	ASEAN-5
参考:2023年	3.3%	2.9%	5.2%	8.2%	4.0%
2024年 (前回見通し)	3.2% → (3.2%)	2.8% → (2.8%)	4.8% → (4.8%)	6.5% → (7.0%)	4.5% → (4.5%)
2025年 (前回見通し)	3.3% → (3.2%)	2.7% → (2.2%)	4.6% → (4.5%)	6.5% → (6.5%)	4.6% → (4.5%)

出典：IMF World Economic Outlook Update 24/10公表(前回)・25/1公表(今回) *ASEAN5：タイ・マレーシア・インドネシア・フィリピン・シンガポール

【分野別動向】

薄板	中国の内需低迷、高位生産、輸出増の影響により、 アジア圏を中心に市況は低迷 。需給バランス適正化・市況回復には一定の時間を要すると想定。
自動車	中国、インド、先進国が支える形で、 世界生産は堅調さを維持 する見通し。 高金利・ローン審査厳格化影響が長期化している ASEAN地域については回復が遅れて おり、利下げ・ローン審査基準緩和・税制支援等が待たれる状況。
造船	中韓造船会社も、新造受注を伸ばし、引き続き 安定した契約残を確保 。但し、韓国造船会社は人手不足などで建造能力は頭打ち、鋼材需要の大きな増加は期待しづらい。
エネルギー	世界経済の緩やかな成長や地政学的緊張状態の高まりを背景に、 エネルギー安定供給ニーズは引き続き強く、中期的に堅調な需要 が見込まれる。 一部足踏み感があるものの、 米国の政権交代やOPEC+の減産緩和延期発表等の追い風要素もあり、需要の再加速が期待 される。

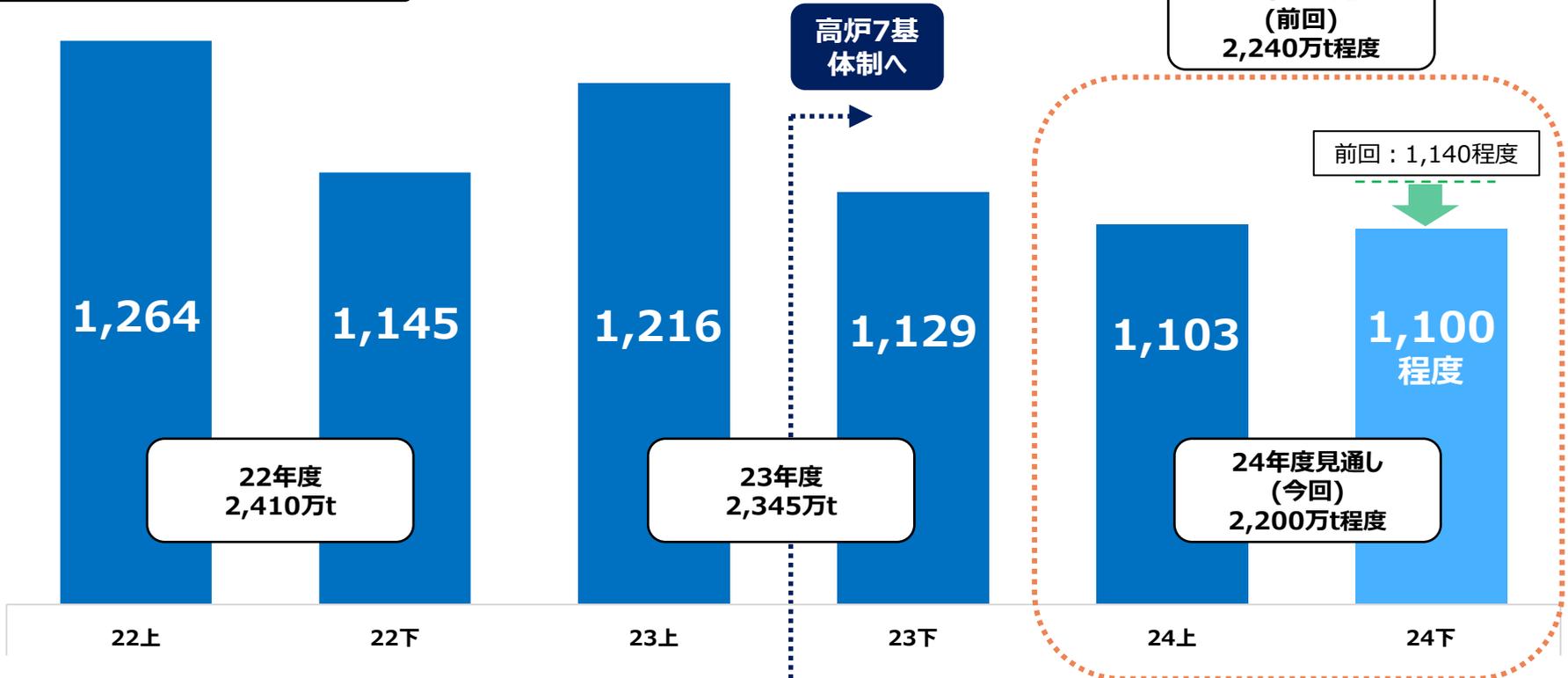
粗鋼生産量について



➤ 製造トラブルにより対前回公表▲40万tの通期2,200万t程度を見込む。
 トラブルは一過性のものであり、原因等は既に把握し、恒久対策を進めている。

単独粗鋼生産量 <半期>

単位：万t





足元の原料市況動向

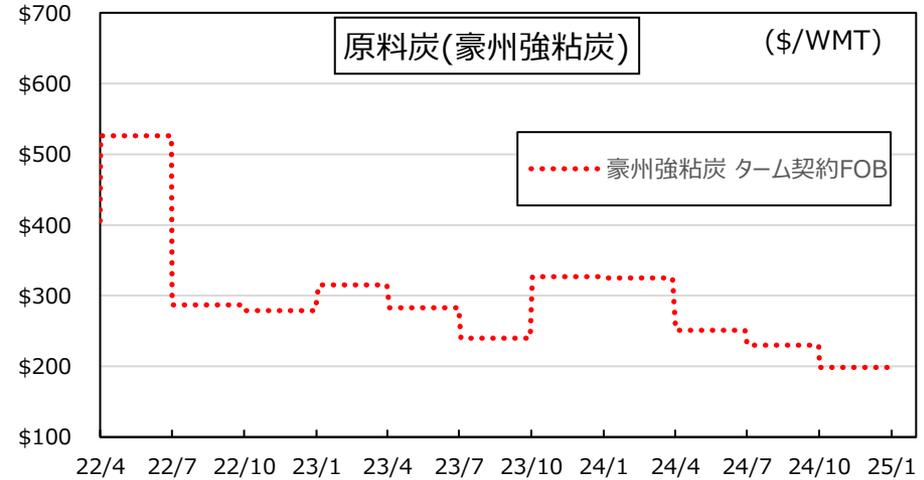
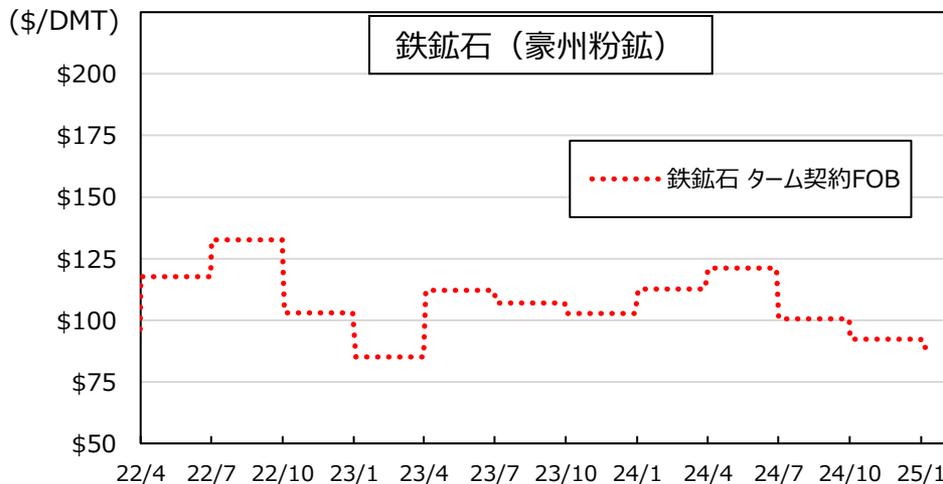
JFE

■ 主原料

- 鉄鉱石：最大の輸入国である中国の鋼材需要の不振が続き、中国政府の政策動向に左右される不透明な環境だが、**当面足元の価格レベルで推移**するものと想定。
- 原料炭：世界の鉄鋼需要の大幅な回復は見込みにくく、**当面足元の価格レベルで推移**すると想定。豪州が雨季に入っており、降雨による生産・出荷遅延の影響は要注視。

■ 金属

- 中国の景気・鉄鋼需要回復の遅れにより、需要は低調であり市況は低迷。



ターム契約FOB	2023年度				2024年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
\$/DMT	112	107	103	113	121	101	92	89

ターム契約FOB	2023年度				2024年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
\$/WMT	283	240	327	325	251	230	198	-

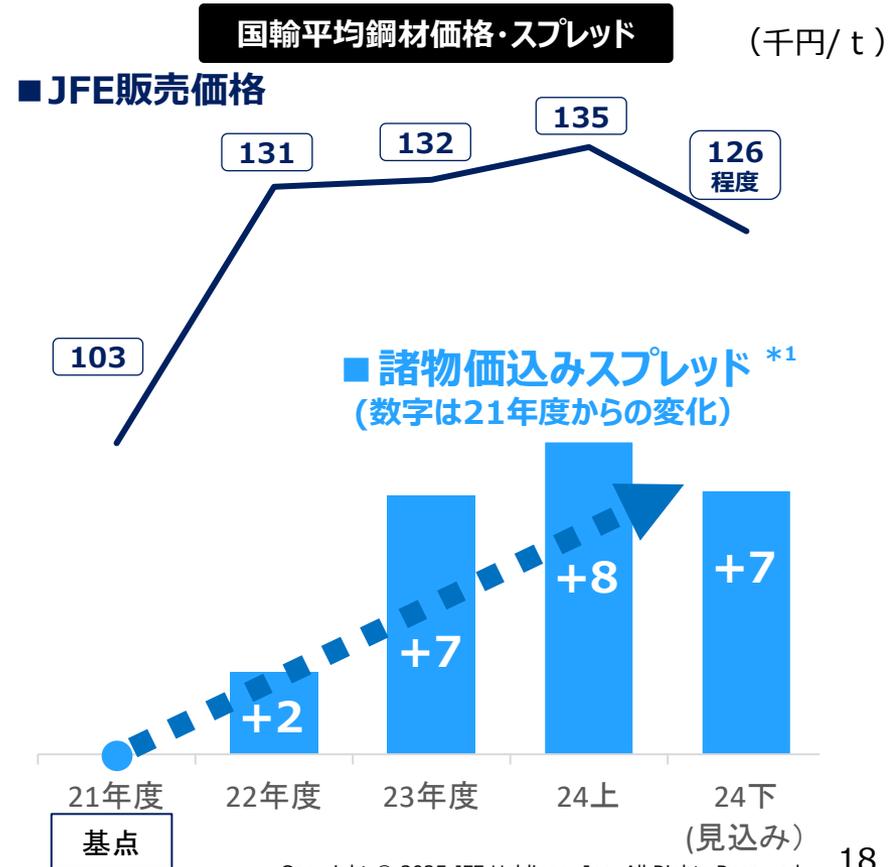
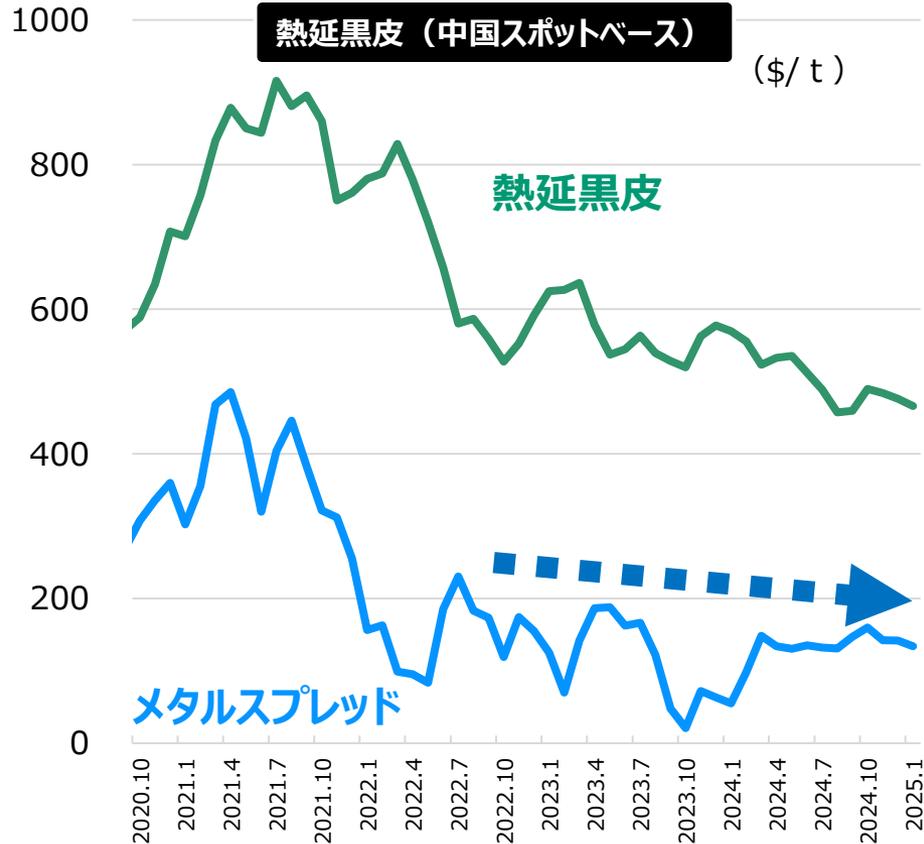


販売価格改善について

JFE

➤ 海外市況低迷、諸物価高騰の中、**価格転嫁、エキストラ見直し、価格水準の是正**を引き続き推進し、諸物価込みスプレッド*1は23年度並みを維持する見通し。

*1 金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等 を含むスプレッド



JFEスチール 2024年度 業績見通し

JFE

	単位	2023年度					2024年度					2024年度 前回 見通し
		上期	10-12月	1-3月	下期	年間	上期	10-12月	1-3月	下期	年間	
		売上収益	億円	18,658	9,156	9,346	18,502	37,160	17,293	8,289	8,218	
セグメント利益	億円	1,228	482	317	798	2,027	345	104	▲189	▲85	260	700
棚卸資産 評価差等除き *	億円	1,238	492	277	768	2,007	875	444	▲99	345	1,220	1,500

単独 粗鋼生産量	万 t	1,216	562	567	1,129	2,345	1,103	553	550 程度	1,100 程度	2,200 程度	2,240 程度
連結 粗鋼生産量	万 t	1,285	595	601	1,195	2,480	1,169	583	480 程度	1,160 程度	2,330 程度	
単独 鋼材出荷量	万 t	1,065	508	504	1,012	2,077	966	487	490 程度	970 程度	1,940 程度	
鋼材輸出比率 (単独・金額ベース)	%	44.2	41.6	41.3	41.5	42.9	42.4	40.0	42 程度	41 程度	42 程度	
鋼材平均価格	千円/t	129.3	132.5	135.2	133.8	131.5	135.2	127.0	125 程度	126 程度	130 程度	
為替レート	円/ドル	139.9	148.7	146.7	147.7	143.8	153.9	149.0	156 程度	153 程度	153 程度	152 程度
期末為替レート	円/ドル	149.6	141.8	151.4	151.4	151.4	142.7	158.2	155 程度	155 程度	155 程度	150 程度

*セグメント利益から、棚卸資産評価差、原料キャリアオーバー、為替換算差を除いた損益

2024年度 セグメント利益 対前回公表 ▲440億円内訳

JFE

- 製造トラブルの影響やグループ会社の収益悪化、および海外事業損失織込み、棚卸資産評価差損等により、対前回見通し▲440億円の260億円の見込み。

JFEスチール	2024年度 前回見通し	2024年度 今回見通し	増減 対前回
セグメント利益	700	260	▲440
棚卸資産評価差等除き	1,500	1,220	▲280

(億円)

- コスト ▲50 ・トラブル影響
- 数量・構成 ▲50 ・粗鋼 2,240万 t 程度→2,200万 t 程度
- スプレッド* +100 ・原料物価変動の販価反映時期差
・販価改善活動によりスプレッド改善
- 棚卸資産評価差等 ▲160 ・棚卸資産評価差+20 (▲350→▲330)
・キャリーオーバー影響▲230 (▲430→▲660)
・為替換算差+50 (▲20→+30)
- その他 ▲280 ・Gr会社▲170
・海外Gr会社の減損損失▲140

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド

2024年度 セグメント利益 対前年度 ▲1,767億円内訳



(億円)

JFEスチール	2023年度 実績	2024年度 見通し	増減 対前年度
セグメント利益	2,027	260	▲1,767
棚卸資産評価差等除き	2,007	1,220	▲787

1. コスト

+270

- ・ 構造改革効果 + 250
- ・ 操業改善他 + 20

2. 数量・構成

▲390

- ・ 粗鋼 2,345万 t → 2,200万 t 程度

3. スプレッド*

+100

- ・ 原料物価変動の販価反映時期差
- ・ 販価改善活動によりスプレッド改善

4. 棚卸資産評価差等

▲980

- ・ 棚卸資産評価差▲380 (+50→▲330)
- ・ キャリーオーバー影響▲680 (+20→▲660)
- ・ 為替換算差▲120 (+150→+30)
- ・ 構造改革費用(一過性費用) + 200 (▲200→±0)

5. その他

▲767

- ・ Gr会社▲380
- ・ 海外Gr会社の減損損失▲140

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド

2024年度上期⇒下期 セグメント利益 ▲430億円内訳

JFE

JFEスチール	2024年度 見通し			(億円) 増減 2024上→下
	上期 実績	下期 見通し	年間	
セグメント利益	345	▲85	260	▲430
棚卸資産評価差等除き	875	345	1,220	▲530

1. コスト

+ 10

2. 数量・構成

±0

・粗鋼 1,103万 t →1,100万 t 程度

3. スプレッド*

▲ 130

・原料物価変動の販価反映時期差

4. 棚卸資産評価差等

+ 100

- ・棚卸資産評価差 ▲270 (▲30→▲300)
- ・キャリーオーバー影響 +200 (▲430→▲230)
- ・為替換算差 +170 (▲70→+100)

5. その他

▲ 410

- ・海外Gr会社の減損損失 ▲140
- ・経費発生時期差 等

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド

JFEエンジニアリング 2024年度 業績見通し

2024年度 業績見通し

JFE

足元の事業環境/損益概況

- 「Waste to Resource分野」、「基幹インフラ分野」で受注拡大を見込む。
- 年間セグメント利益は、200億円を見込む（前回公表どおり）。

業績見通し

(億円)	23年度実績		24年度見通し		増減 (対前年同期)		24年度見通し (前回)	
	下期	年間	下期	年間	下期	年間	下期	年間
受注高※	2,933	5,630	3,540	6,000	607	370	3,540	6,000
売上収益	2,915	5,399	3,105	5,800	190	401	3,105	5,800
セグメント利益	156	243	111	200	▲45	▲43	111	200

※24年度より自治体等から受託したごみ処理施設等の長期O&M契約の受注計上方法を変更。
旧計上方法で計算した場合、24年度の年間受注高見通しは5,900億円。

JFE商事 2024年度 業績見通し



2024年度 業績見通し

JFE

足元の事業環境/損益概況

▶ 年間セグメント利益は、450億円を見込む（前回公表どおり）。

業績見通し (億円)	23年度実績		24年度見通し		増減 (対前年同期)		24年度見通し (前回)	
	下期	年間	下期	年間	下期	年間	下期	年間
売上収益	7,344	14,764	7,345	14,500	1	▲264	7,345	14,500
セグメント利益	221	489	226	450	5	▲39	226	450

来期以降に向けて

JFE

- 当期減益要因の一部解消に加え、7次中期に実行した成長投資の早期収益化、量から質への転換の推進・継続、さらなるコスト削減により、収益拡大を図る。

(参考)来期以降、収益化・収益拡大する投資案件

[鉄鋼事業]

- 倉敷電磁鋼板能力増強 フル寄与 (24年度9月稼働)
- 豪ブラックウォーター権益10%取得 (24年度中クロージング見込み)
- thyssenkrupp Electrical Steel India 買収 (25年1月クロージング) (*)

[エンジニアリング事業]

- 住友ケミカルエンジニアリング株式66.6% 取得 (24年度中クロージング見込み) (*)
- モノパイル工場本格稼働 (25年度下期見込み)

(*) 前回公表からの変化点

[商社事業]

- Studco買収 フル寄与 (24年5月クロージング)
- セルビア電磁鋼板加工販売会社設立 (25年7月本格稼働見込み)

- 経営環境の急激な変化等に迅速に対応すべく、「監査役会設置会社」から、「監査等委員会設置会社」に移行 (定款変更議案の株主総会承認前提)。

- 8次中期経営計画では、厳しい事業環境下でも成長を実現できる戦略を示す。

トピックス

倉敷電気炉がCNに向けた製鉄プロセス転換支援事業に採択

2024/12/20リリース

JFE

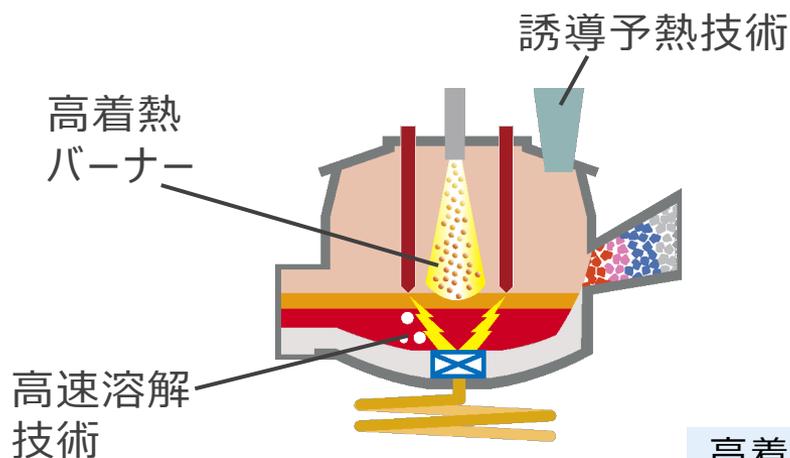
- 倉敷電気炉が支援事業*に採択。交付審査手続きを受けて年度内の機関決定を予定。
- 世界最大規模の電気炉を導入し、既存大型電気炉では製造し得なかった**高品質・高機能鋼材の大量供給体制を他社に先駆けて実現。国内グリーン鋼材市場でトップシェアを狙う。**

*GX経済移行債を活用した政府支援策である「排出削減が困難な産業におけるエネルギー・製造プロセス転換支援事業（事業Ⅰ（鉄鋼）」）

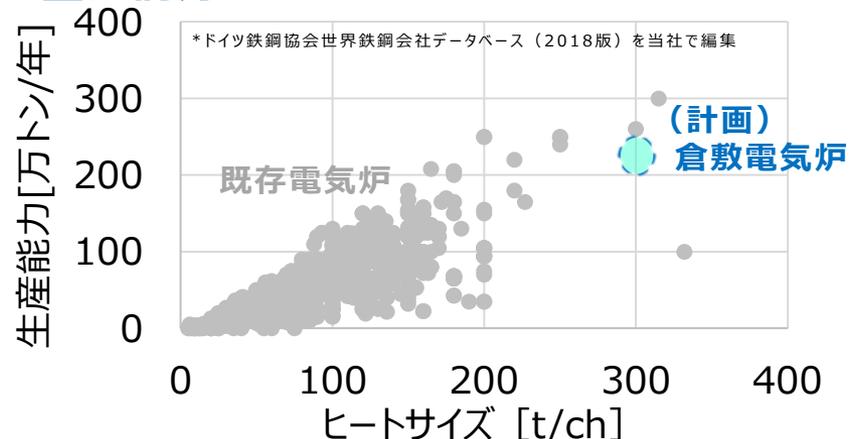
■投資概要

投資規模	3,294億円（うち政府支援上限額：1,045億円）
投資内容	革新電気炉、炉外精錬設備、冷鉄源物流設備、岸壁整備、受配電設備 など
生産能力	約200万トン/年
生産開始	2028年度1Q
CO ₂ 削減効果	約260万トン/年

■導入予定の革新技術



■生産能力



高着熱バーナーや高速溶解技術、誘導予熱等の革新プロセス技術により、世界最大規模の電気炉で高効率な溶解技術を確立。

自動車用超ハイテン製造 溶融亜鉛めっきライン(CGL)建設

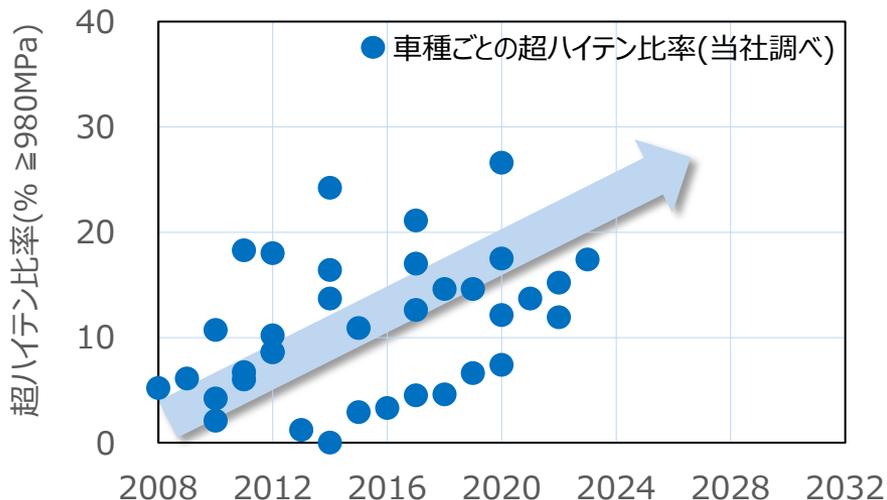
2024/12/10リリース

JFE

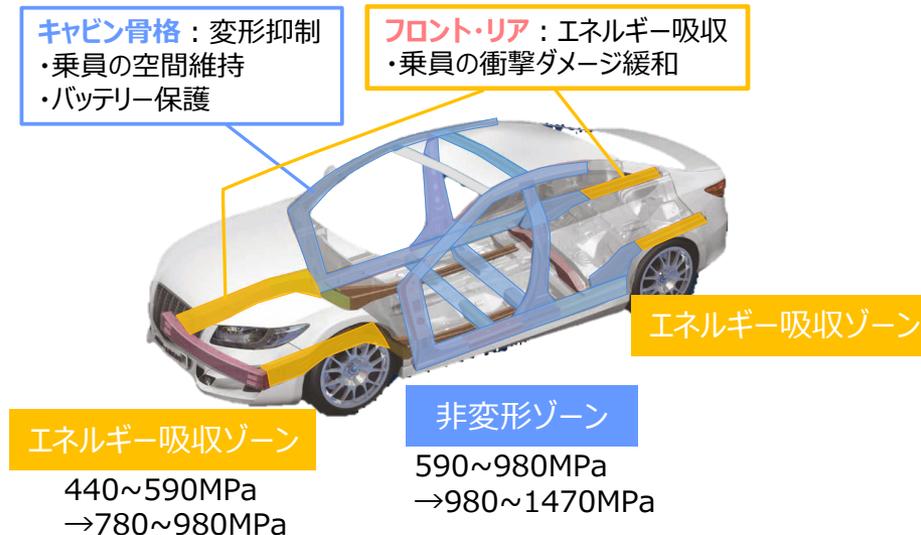
- 自動車の軽量化・高強度化ニーズ拡大に伴い、**超ハイテン***の需要が拡大。
- 超ハイテン特有の割れや溶接性の課題を解決する**最新技術を盛り込んだ次世代CGLの新設**を決定。

* 引張り強さ ≥ 980 MPa(メガパスカル)のハイテン(高張力鋼板)

■ 自動車車体の超ハイテン比率推移



■ 超ハイテンの代表的な適用部位



■ 溶融亜鉛めっきラインの概要

生産能力	36万トン/年 (福山地区)
稼働時期	2028年10月 (予定)
投資額	約700億円

さらなる超高強度ハイテンやエネルギー吸収性能に優れた高機能ハイテンなどの新商品の投入を進め、高付加価値品比率を引き上げる。

住友化学子会社の株式(66.6%)の取得

2025/2/3リリース

JFE

- ▶ 今後も市場成長が見込まれる化学プラント領域でのEPC¹⁾およびメンテナンスにおいて、住友ケミカルエンジニアリング株式取得により、**顧客基盤と医薬関連・半導体関連等の対応領域を拡大。**
- ▶ 化学プラント領域の**売上は600億円強に倍増**、当該事業で**国内トップ3に入る規模に拡大。**

1) EPC：設計・調達・建設

■ 化学プラント領域での領域拡大



■ 譲渡対象会社の概要

会社名	住友ケミカルエンジニアリング株式会社 (株式譲渡後に商号変更を予定)
設立	1964年
資本金	10億円 (持ち株比率 住友化学100%)
拠点数	国内3か所 (千葉、大阪、愛媛)、海外2か所 (シンガポール、マレーシア)
クロージング	2025年3月31日予定



DXレポート発行

JFE

- 当社のDXの取り組みを記載した、「DXレポート2024」を2/7に発行します。当社HPをご覧ください。
 <URL : <https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/dxreport/index.html>>



主な記載内容と掲載事例（抜粋）

1. 「DXレポート2024」の発行にあたって

～DX推進のトップランナーとして、サステナブル社会に向けた新たな価値を提供～

2. JFEグループのDXを活用した社会課題に対する取り組み

- 2025年の崖への挑戦
- 労働人口減少と環境負荷低減への対応
- DX人材育成

3. 各事業会社の取り組み

鉄鋼事業

製鉄所システムリフレッシュ、多工程一貫品質データ解析システム 他

エンジニアリング事業

ごみ焼却炉自動運転AI「BRA-ING（ブレイング）」 他

商社事業

生成AI活用に向けた取り組み 他

4. セキュリティ対応 デジタル・ガバナンス、サイバーセキュリティ 他

 DX銘柄2024
Digital Transformation

2024 DX REPORT

Contributing to society with the world's most innovative technology



参考資料①

財務関連データ・損益分析 他

中期主要収益目標および業績概況

		7次中期 経営計画 2024年度	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 見通し
グループ 全体	連結事業利益 [鉄鋼事業 棚卸資産評価差等除き]	3,200億円	4,164億円 [2,224億円]	2,358億円 [1,628億円]	2,982億円 [2,962億円]	1,150億円 [2,110億円]
	親会社所有者帰属当期利益	2,200億円	2,880億円	1,626億円	1,974億円	950億円
	ROE	10%	15.7%	7.9%	8.6%	3.8%
事業 会社	鉄鋼事業 セグメント利益 [棚卸資産評価差等除き]	2,300億円	3,237億円 [1,297億円]	1,468億円 [738億円]	2,027億円 [2,007億円]	260億円 [1,220億円]
	トン当たり利益* [棚卸資産評価差等除き]	10千円/t	14千円/t [6千円/t]	7千円/t [3千円/t]	10千円/t [10千円/t]	1千円/t [6千円/t]
	エンジニアリング 事業 セグメント利益	350億円	260億円	134億円	243億円	200億円
	商社事業 セグメント利益	400億円	559億円	651億円	489億円	450億円

* 鉄鋼事業のトン当たり利益（連結セグメント利益÷単体鋼材出荷数量）

連結キャッシュフロー、Debt/EBITDA倍率

JFE

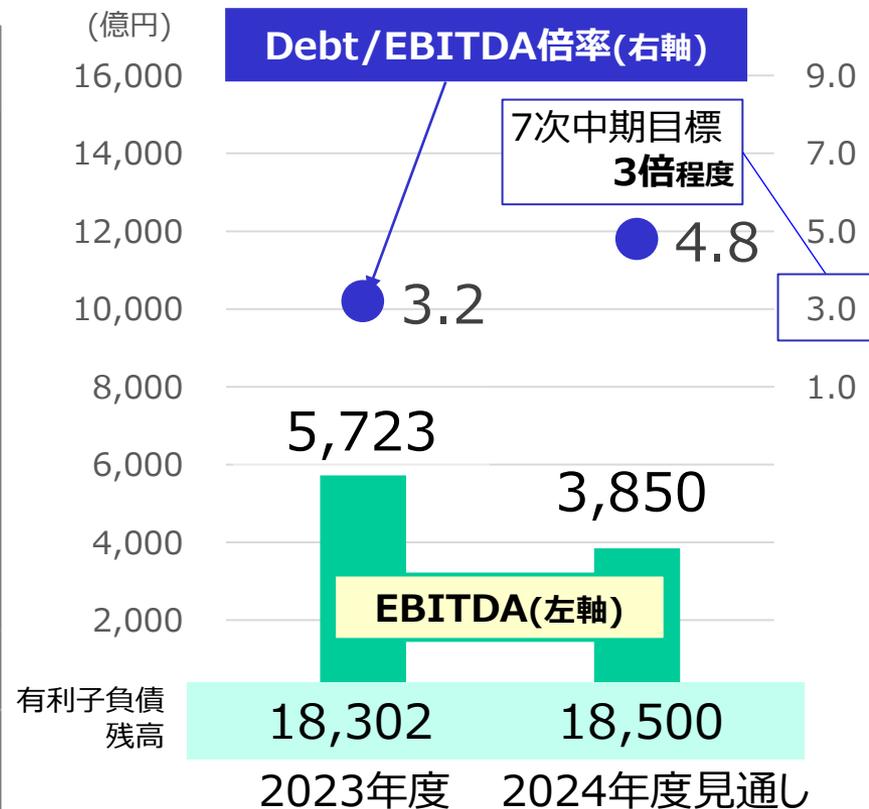
➤ 2024年度末のDebt/EBITDA倍率は、4.8倍となる見通し

連結キャッシュフロー

(億円)

Cash-in		Cash-out	
当期利益	950	設備投資 および投融資	
減価償却費 および償却費	2,700		4,300
資産圧縮	950		
現預金減	1,000	配当金支払	640
有利子負債増	198	運転収支他	858

Debt/EBITDA倍率の推移



- Debt/EBITDA倍率 = 有利子負債残高/EBITDA
- EBITDA = 事業利益 + 減価償却費及び償却費



主な財務関連データ

JFE

【日本基準】

【IFRS】

年度	'15	'16	'17	'18	年度	'18	'19	'20	'21	'22	'23
【主要財務指標】(億円、%、倍)					【主要財務指標】(億円、%、倍)						
経常利益	642	847	2,163	2,211	事業利益	2,320	378	▲129	4,164	2,358	2,982
EBITDA ※1	2,544	2,799	3,888	4,059	EBITDA ※1	4,282	2,694	2,234	6,687	5,054	5,723
ROS ※2	1.9%	2.6%	5.9%	5.6%	ROS ※2	6.0%	1.0%	▲0.4%	9.5%	4.5%	5.8%
ROE ※3	1.8%	3.7%	7.6%	8.3%	ROE ※3	8.6%	▲11.1%	▲1.3%	15.7%	7.9%	8.6%
ROA ※4	1.7%	2.3%	5.2%	5.1%	ROA ※4	5.0%	0.8%	▲0.3%	8.4%	4.4%	5.3%
借入金・社債等残高(期末)	13,793	13,754	13,309	14,499	有利子負債残高(期末)	15,238	18,143	18,061	18,494	18,629	18,302
Debt/EBITDA倍率 ※5	5.4倍	4.9倍	3.4倍	3.6倍	Debt/EBITDA倍率 ※5	3.6倍	6.7倍	8.1倍	2.8倍	3.7倍	3.2倍
D/Eレシオ ※6	56.9%	51.4%	58.1%	62.0%	D/Eレシオ ※6	68.2%	96.4%	93.2%	80.8%	67.8%	58.0%
【1株当たり情報】(円/株、%)					【1株当たり情報】(円/株、%)						
親会社株主に帰属する当期純利益	58	118	251	285	親会社の所有者に帰属する当期利益	284	▲343	▲38	500	281	323
配当金	30	30	80	95	配当金	95	20	10	140	80	100
配当性向	51.4%	25.5%	31.9%	33.3%	配当性向	33.5%	-	-	28.0%	28.5%	30.9%

【日本基準】

※1 EBITDA: 経常利益+支払利息+減価償却費

※2 ROS: 経常利益/売上高

※3 ROE: 親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本

※4 ROA: (経常利益+支払利息)/総資産

※5 Debt/EBITDA倍率: 借入金・社債等残高/EBITDA

※6 D/Eレシオ: 借入金・社債等残高/自己資本

但し、格付け評価上の資本性を持つ負債について、格付機関の評価により資本に算入

【IFRS】

※1 EBITDA: 事業利益+減価償却費及び償却費

※2 ROS: 事業利益/売上収益

※3 ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益/親会社の所有者に帰属する持分

※4 ROA: 事業利益/資産合計

※5 Debt/EBITDA倍率: 有利子負債残高/EBITDA

※6 D/Eレシオ: 有利子負債残高/親会社の所有者に帰属する持分

但し、格付け評価上の資本性を持つ負債について、格付機関の評価により資本に算入

JFEスチール 四半期別データ

JFE

	単位	2022年度					2023年度					2024年度		
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月
売上収益	億円	9,326	9,863	9,869	9,753	38,811	9,172	9,486	9,156	9,346	37,160	8,606	8,687	8,289
セグメント利益	億円	930	552	218	▲232	1,468	681	547	482	317	2,027	315	30	104
棚卸資産 評価差等除 *	億円	▲230	552	228	188	738	591	647	492	277	2,007	365	510	444
単独 粗鋼生産量	万t	643	621	548	597	2,410	605	611	562	567	2,345	548	555	553
連結 粗鋼生産量	万t	677	659	581	629	2,548	638	647	595	601	2,480	580	589	583
単独 鋼材出荷量	万t	554	532	525	564	2,174	523	542	508	504	2,077	470	496	487
鋼材輸出比率 単独・金額ハ ー ス	%	48.5	45.0	41.0	43.6	44.5	44.2	44.2	41.6	41.3	42.9	40.6	44.2	40.0
鋼材平均価格	千円 /t	126.7	136.7	136.3	124.0	130.8	128.5	130.1	132.5	135.2	131.5	139.2	131.5	127.0
為替レ ート	円/ ドル	126.5	136.6	144.0	133.2	135.1	135.8	144.1	148.7	146.7	143.8	155.0	152.8	149.0
期末為替レ ート	円/ ドル	136.7	144.8	132.7	133.5	133.5	145.0	149.6	141.8	151.4	151.4	161.1	142.7	158.2

*セグメント利益から、棚卸資産評価差、キャリアオーバー、為替換算差等を除いた損益

2024年度7-9月⇒10-12月

セグメント利益 +74億円内訳

JFE

(億円)

JFEスチール	2024年度					増減 7-9月→ 10-12月
	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 見通し	年間 見通し	
セグメント利益	315	30	104	▲189	260	74
棚卸資産評価差 等除き	365	510	444	▲99	1,220	▲66

1. コスト

▲40

2. 数量・構成

±0

・粗鋼 555万 t →553万 t

3. スプレッド*

±0

4. 棚卸資産評価差等

+140

- ・棚卸資産評価差▲240 (▲30→▲270)
- ・キャリーオーバー影響+130 (▲300→▲170)
- ・為替換算差+250 (▲150→+100)

5. その他

▲26

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド

2024年度10-12月⇒1-3月

セグメント利益 ▲293億円内訳

JFE

(億円)

JFEスチール	2024年度					増減 10-12月 →1-3月
	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 見通し	年間 見通し	
セグメント利益	315	30	104	▲189	260	▲293
棚卸資産評価差 等除き	365	510	444	▲99	1,220	▲543

1. コスト

+60

2. 数量・構成

+40

・粗鋼 553万 t →550万 t 程度

3. スプレッド*

▲320

・原料物価変動の販価反映時期差

4. 棚卸資産評価差等

+250

- ・棚卸資産評価差+240 (▲270→▲30)
- ・キャリーオーバー影響+110 (▲170→▲60)
- ・為替換算差▲100 (+100→±0)

5. その他

▲323

- ・海外Gr会社の減損損失▲140
- ・経費発生時期差 等

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド

インドにおける成長戦略

JFE

- JSWと共同で設立した合併会社(J2ES)を通じた**thyssenkrupp Electrical Steel India(tkES India)の買収が完了** (2025年1月31日リリース)。

■ tkES India買収完了

被買収会社名	thyssenkrupp Electrical Steel India Private Limited (tkES India)
所在地	マハラシュトラ州ナーシク市
買収額	約710億円
持分比率	JFE50%、JSW50%
クロージング	2025年1月30日
(参考) 売上推移	2023年度：127億ルピー 2022年度：128億ルピー 2021年度：78億ルピー



■ 高級方向性電磁鋼板製造JV設立(2024年2月13日リリース)

会社名	JSW JFE Electrical Steel Private Limited (J2ES)
総投資額	約670M US \$
持分比率	JFE50%、JSW50%
稼働時期	2027年度フル生産(予定)

グリーン鋼材JGreeX[®]受注状況

JFE

- 国内造船、建築を中心に、電力、消費財、海外向け等、**受注の裾野が拡大**。
- **国内公共事業向けで厚板が、ベトナムで熱延鋼板**が初採用。

分野	国内/海外	品種	需要家	用途
造船	国内	厚板	桧垣造船・尾道造船・今治造船	ドライバルク船
	国内	厚板	常石造船	水素タグボート
建築	国内	厚板・形鋼 ・鋼管	熊谷組・住友商事	オフィスビル
	国内	鋼管	ヤシマナダ	建材流通
	国内	形鋼	苫小牧栗林運輸	倉庫
	★国内	鋼管	JFE商事鋼管管材	鋼管流通
	★海外	熱延鋼板	SUNSCO	倉庫
橋梁	★国内	厚板	横河ブリッジ（岡山市）	橋梁
	★国内	厚板	JFEエンジニアリング（横浜市）	橋梁
造船、建築、 海洋構造物	海外	厚板	Hock Seng Hoe	厚板流通
電力	海外	電磁鋼板	欧州変圧器メーカー	変圧器
	海外	電磁鋼板	Eaton Corporation	変圧器
	★国内	電磁鋼板	愛知電機	産業用大型変圧器
事務用機器	国内	棒線	鈴豊精鋼	ECOコンテナ
缶	国内	ブリキ	モノファクトリー	缶バッジ
産業機械	国内	冷延鋼板	ヤマハ発動機	表面実装機

★：3Qでの新規案件

グリーン鋼材市場創出に向けた取り組み

JFE

- 脱炭素社会実現に向けて、**グリーン鋼材の普及やエネルギー政策課題について提言。**
(2024年6月6日 第56回 総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会)
- グリーン鉄の市場創出に向けた**「削減実績量」の環境価値化における課題**や、鉄連・worldsteelと連携した**国際標準化に向けた活動進捗を説明。**
- **GX推進のためのグリーン鉄**に対し、**グリーン購入法による優先的調達やCEV補助金による購入支援**などの政策を重点的に講じ、市場拡大を図っていくことをとりまとめ。
(2024年11月25日 第3回 GX推進のためのグリーン鉄研究会)

■ 国際標準化、ルールメイキング

CoC : Chain of Custody

- マスバランス方式/CoCガイドライン策定 (鉄連-高炉3社、worldsteel)
 - ✓ 鉄連ガイドライン策定 (2023.10) 、worldsteel 基本原則合意 (2024.4)
- GHGプロトコル改訂に向けた活動
- マスバランス方式/CoCに関するISO化への取組み

■ 需要創出に向けた取り組み

- JGreeX®供給開始 (2023.6)
 - ✓ 造船、建築、電磁等、7分野で採用済
- GXリーグ等での民間調達の削減実績量ルール化への取組み
 - ✓ GXリーグWG 提言書 (2023.12) 、METI-GX製品市場研究会 中間整理 (2024.3)
 - ✓ 経産省グリーン鉄研究会にオブザーバー参加 (2024.10)



JFEエンジニアリング 受注内容

JFE

(億円)

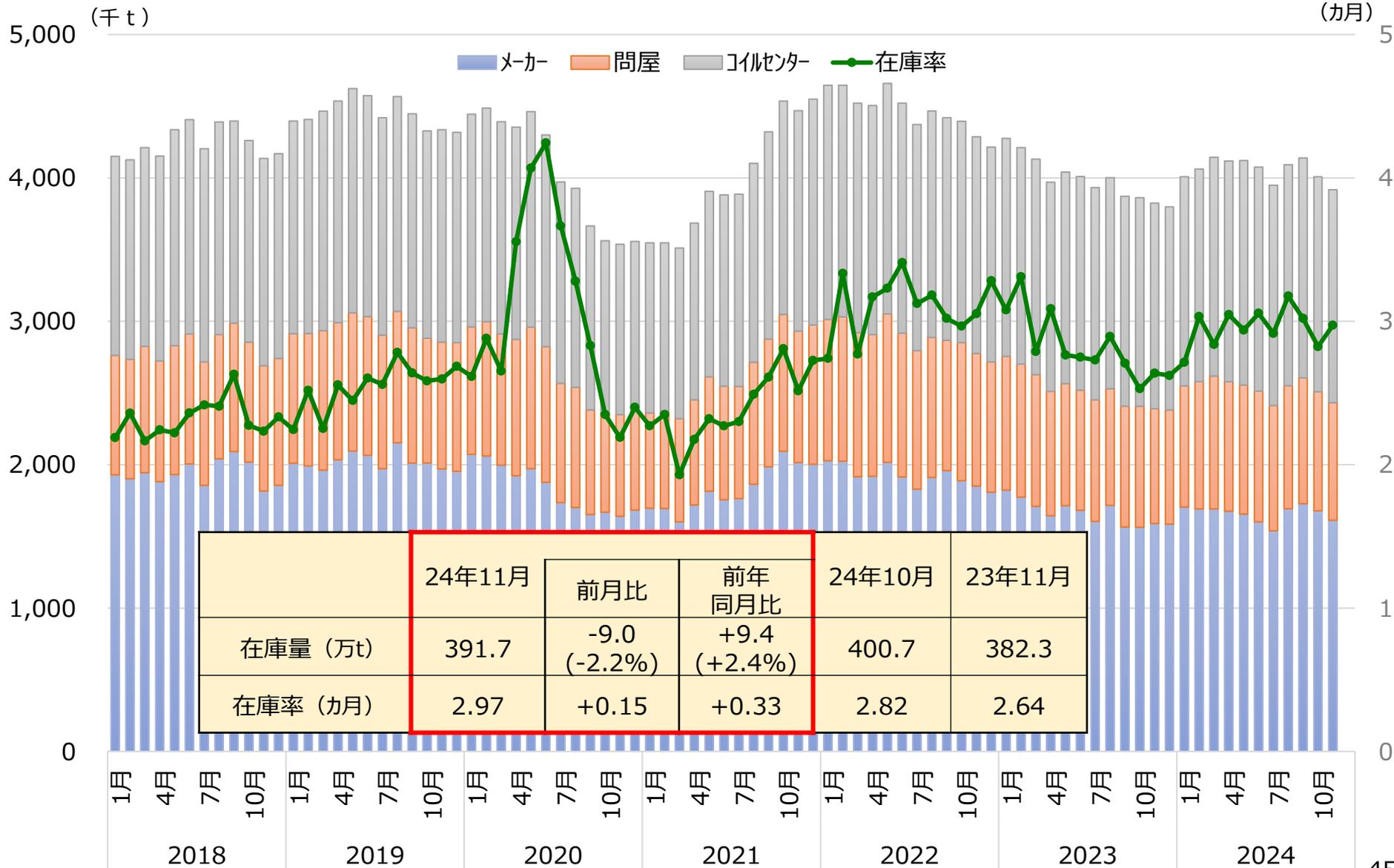
分野	2023年度 実績	2024年度 見通し	増減	2024年度 主な受注内容 ★…第3四半期 新規・追加受注案件
Waste to Resource	2,437	2,750	313	国内廃棄物処理施設 更新工事[神奈川、★北海道] 海外廃棄物処理施設 新設工事[台湾] 国内廃棄物処理施設 運営受託[★鳥取]
カーボン ニュートラル	543	560	17	
複合 ユーティリティ サービス	156	90	▲66	
基幹 インフラ	2,494	2,600	106	国内橋梁新設（京奈和自動車道[奈良]、 臨港道路[神奈川]、舞鶴若狭自動車道[京都]） 海外橋梁新設[ニカラグア] 国内水道管路更新事業[兵庫]
受注高 合計	5,630	6,000	370	
受注残高	6,138	9,700	3,562	

※2024年度見通しは、長期O&M契約の受注計上方法を変更後の数値で記載しています。

参考資料② 事業環境指標他

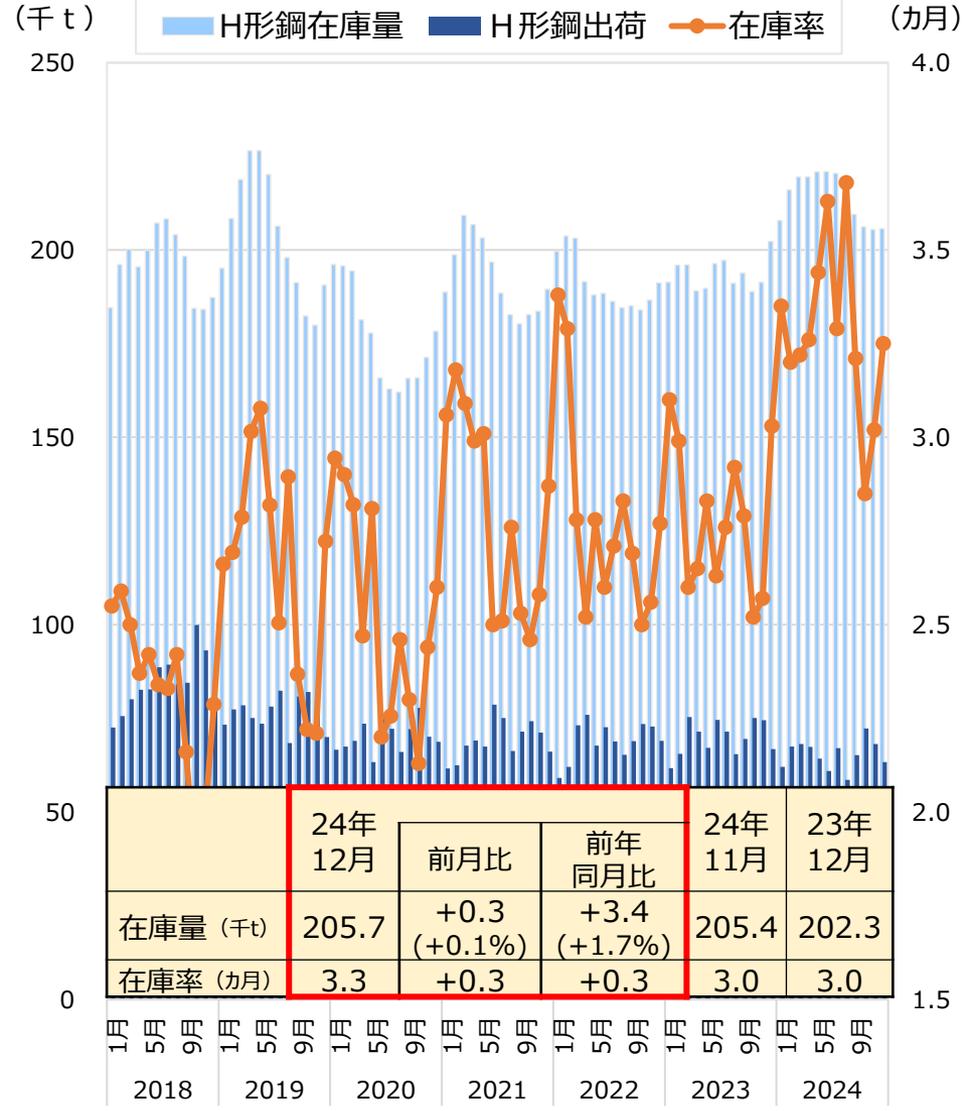
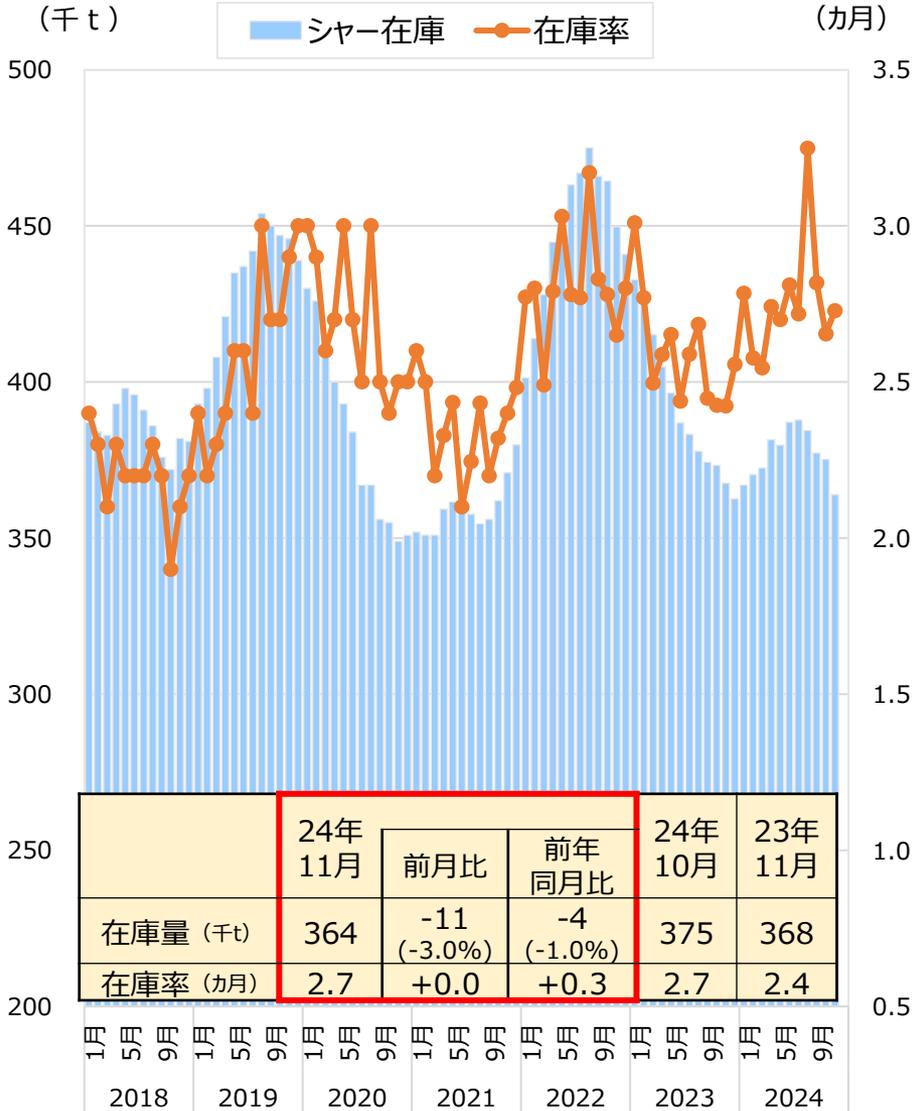
国内販売環境

薄板3品在庫



国内販売環境

厚板シャー・H形鋼在庫



国内販売環境

輸入鋼材（普通鋼/国別）

JFE

(千t)

600

■ 韓国 ■ 中国 ■ 台湾 ■ その他

500

400

300

200

100

0



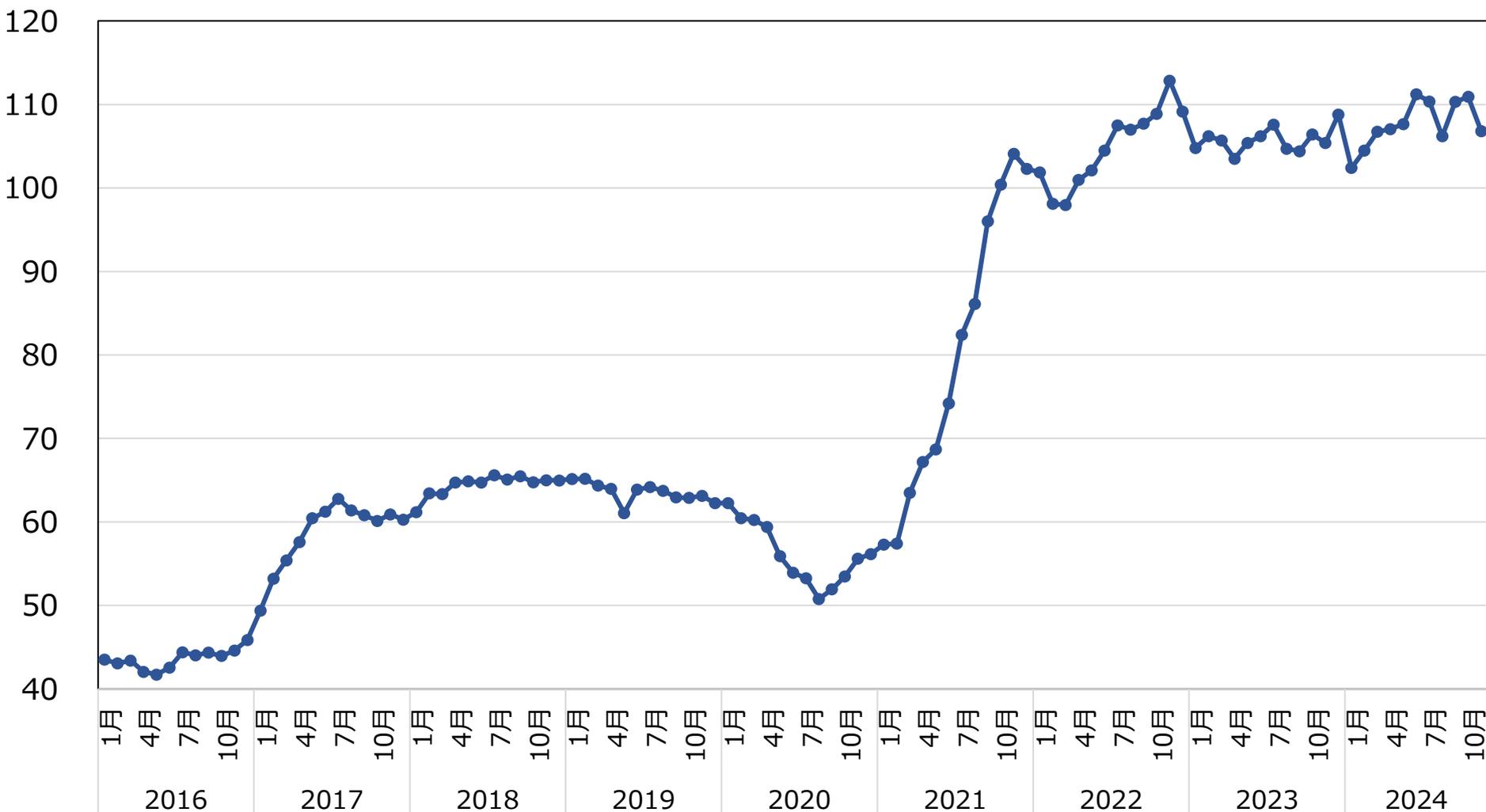
	24年11月	前月比	前年同月比	24年10月	23年11月
輸入鋼材 (千t)	443	-9 (-2.0%)	+30 (+7.3%)	452	413

国内販売環境

輸入鋼材価格

JFE

(千円/t)



日本鉄鋼連盟データより作成 (韓国から輸入の熱延広幅帯鋼)

海外販売環境

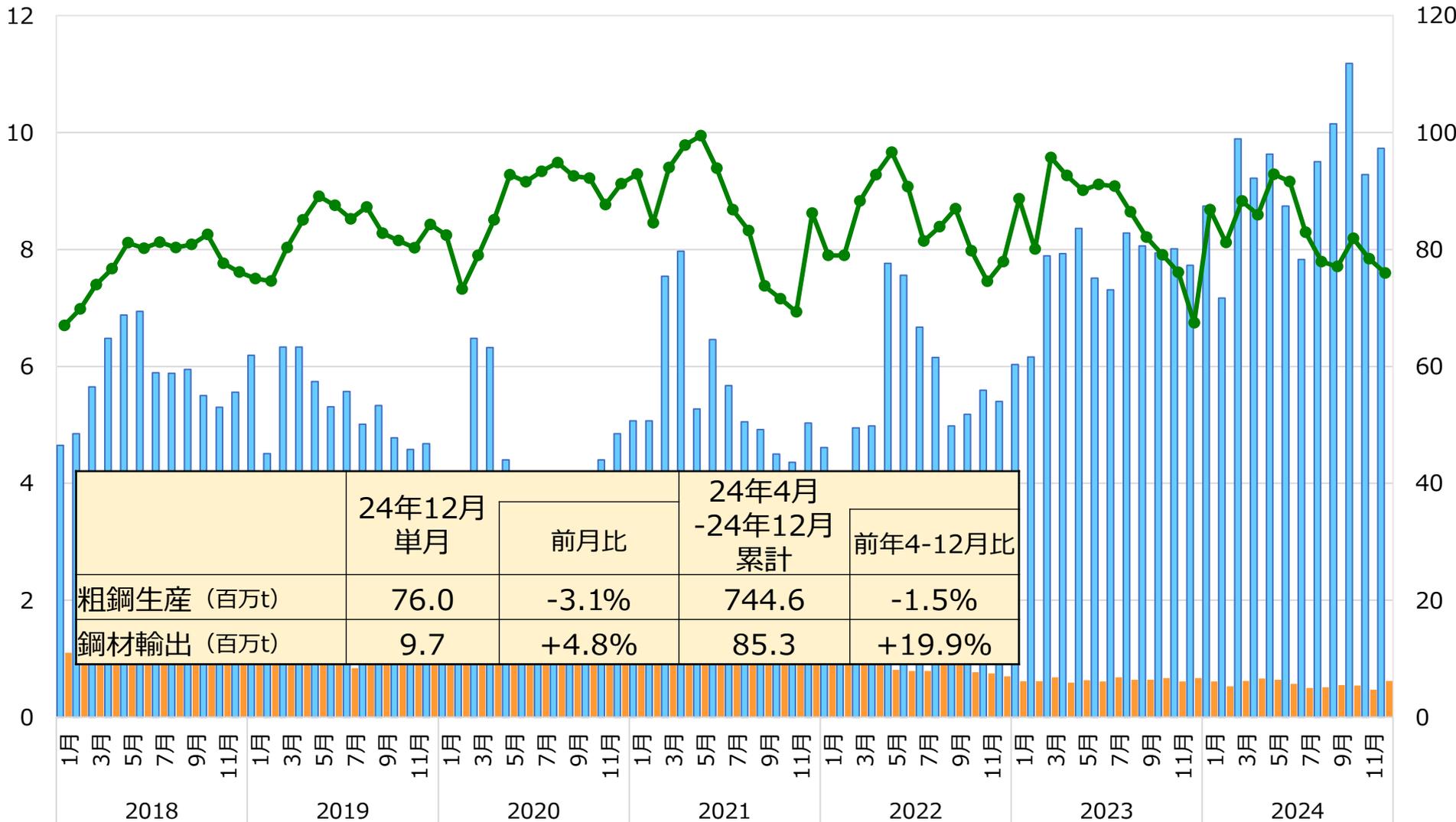
中国粗鋼生産・輸出入



(百万 t)

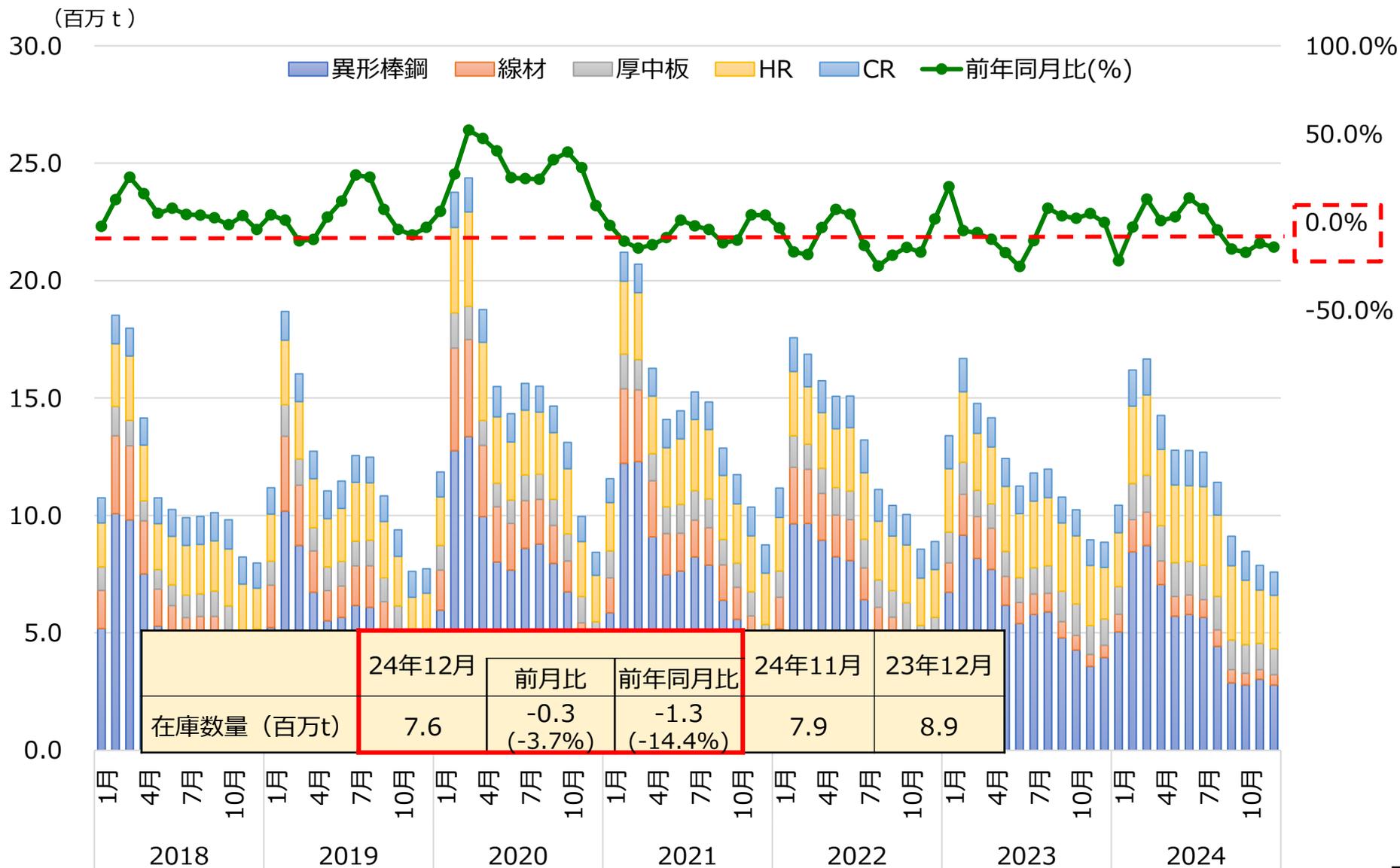
■ 輸出 (左軸) ■ 輸入 (左軸) ● 粗鋼生産 (右軸)

(百万 t)



海外販売環境

中国品種別在庫数量

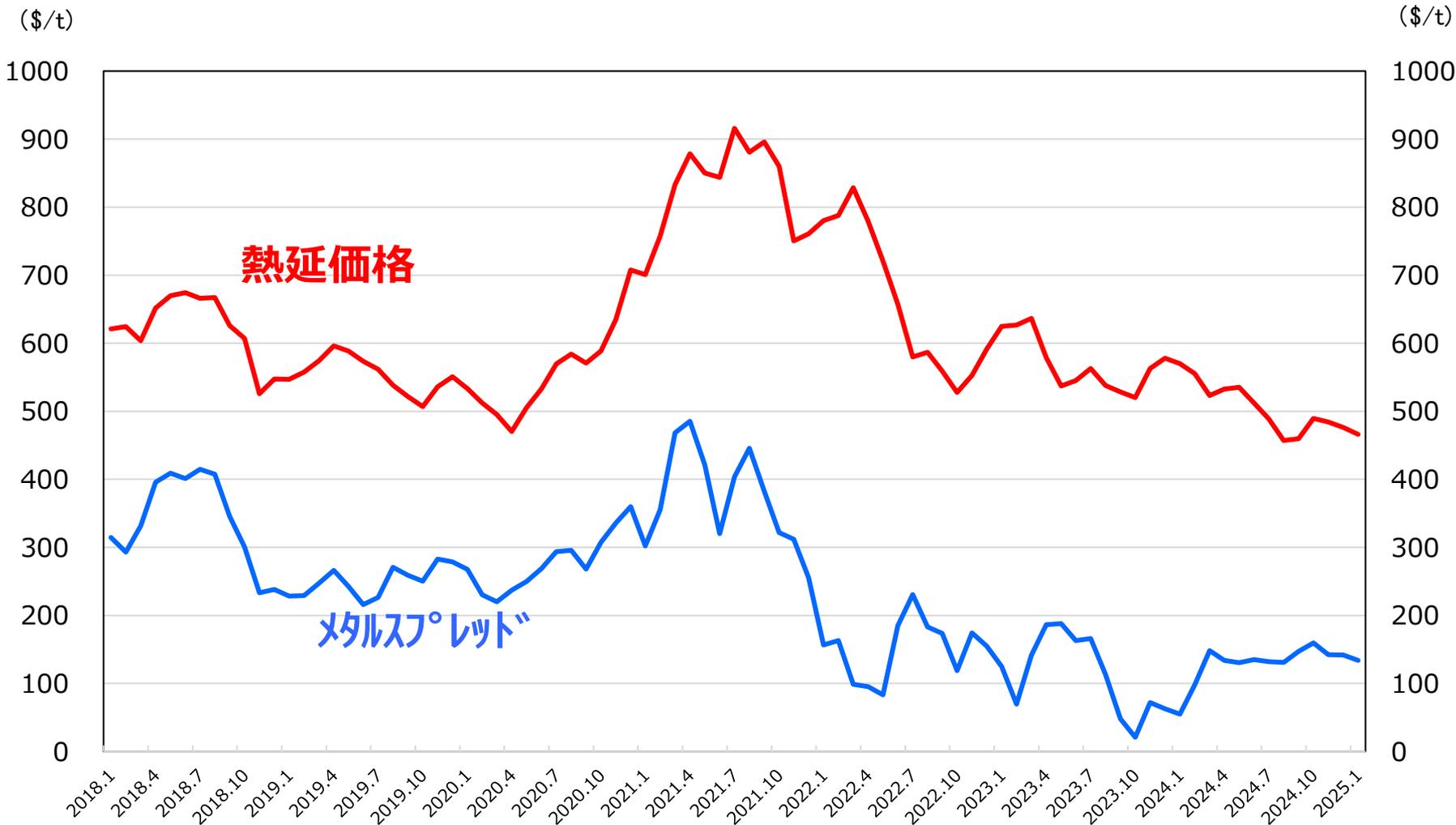




海外販売環境

(中国スポットベース)
メタルスプレッド

JFE



メタルスプレッド = 熱延価格 - 主原料コスト

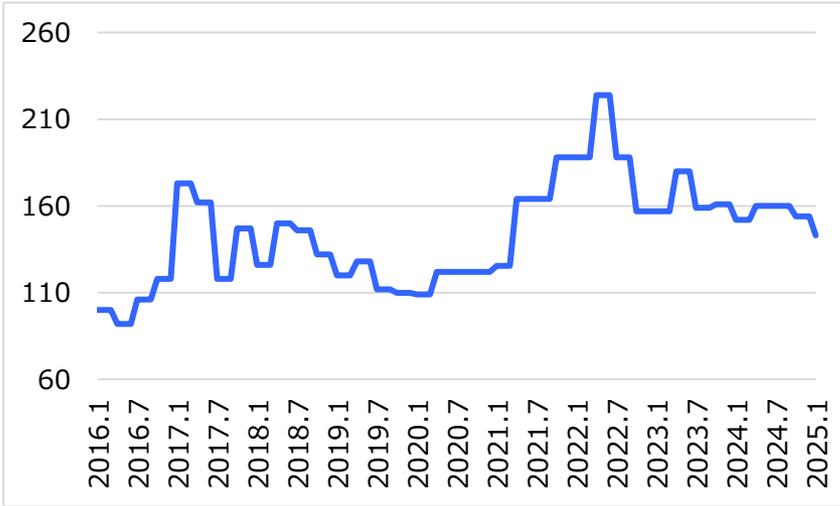
※熱延価格：中国5都市平均価格、主原料コスト：粉鉱石、強粘炭国際スポット市況ベース

原料

金属市況推移



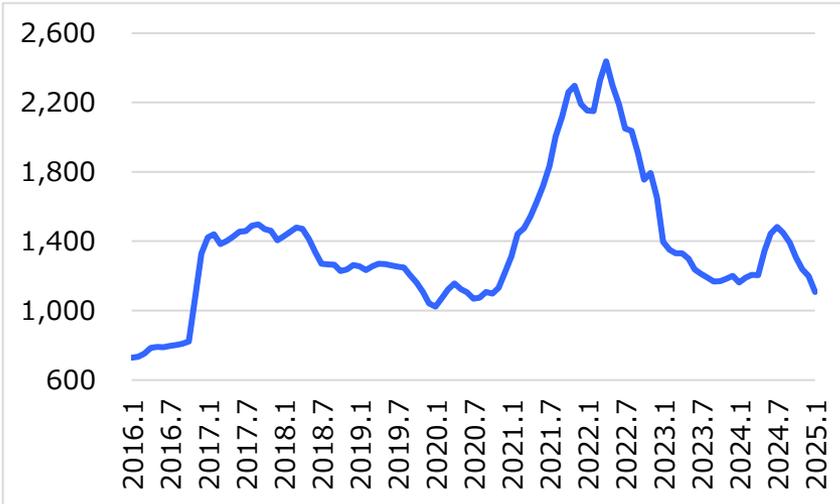
(¢/lb) フェロクロム



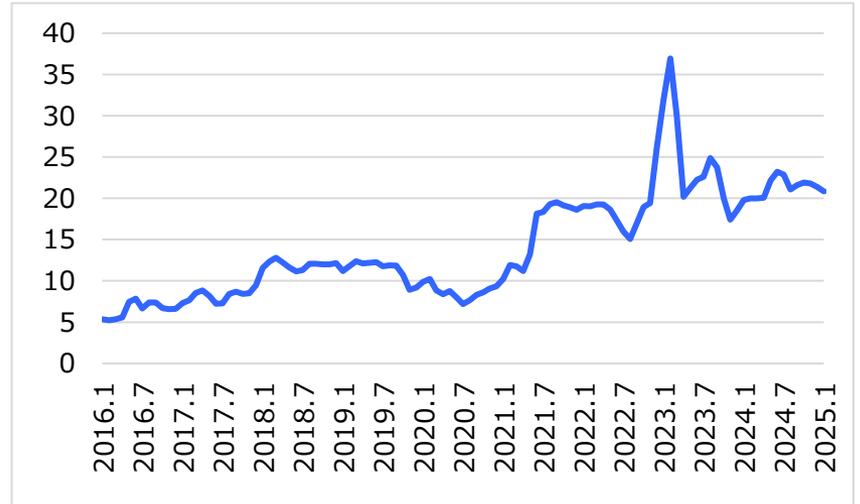
(US\$/t) 亜鉛



(US\$/t) フェロマンガン



(US\$/lb) モリブデン



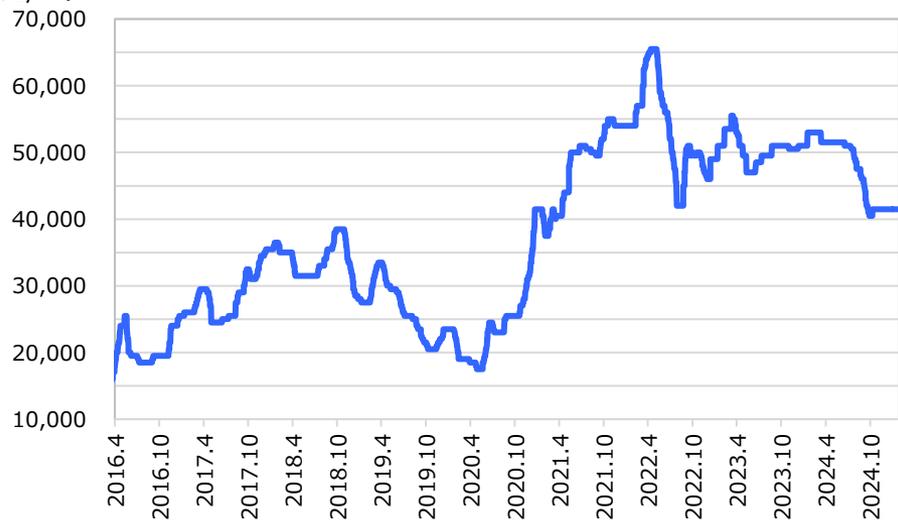


原料

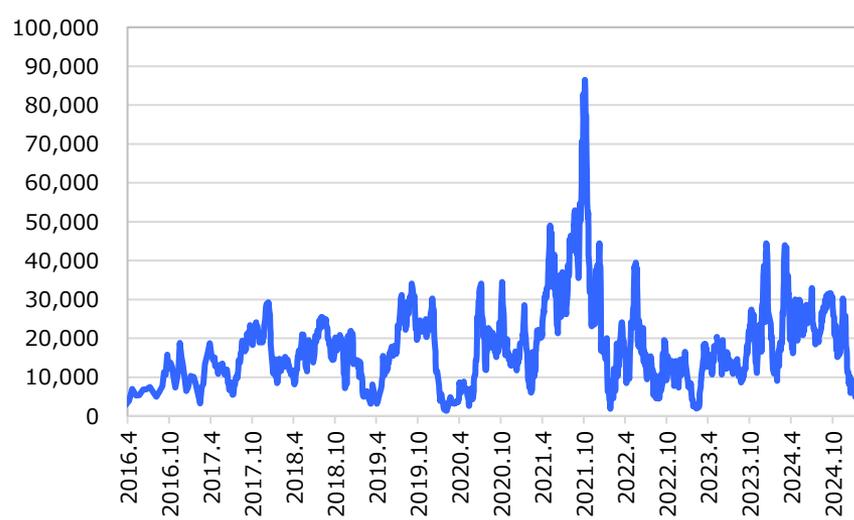
その他市況推移

JFE

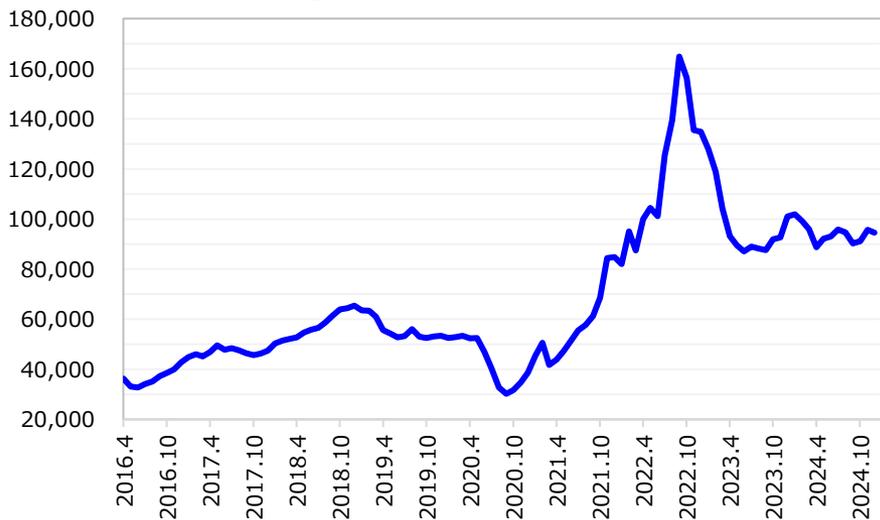
(円/t) スクラップ市況



(\$/B) スポット備船市況



(円/t) LNG市況



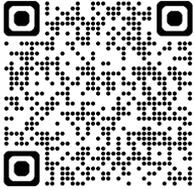
原油・バンカー市況





2024年度発行資料 リンク集

JFE

資料名	URL	QRコード
JFEグループレポート 2024 (統合報告書)	https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/group-report/index.html	
サステナビリティ	https://www.jfe-holdings.co.jp/sustainability/	
サステナビリティ報告書 2024 環境データ集	https://www.jfe-holdings.co.jp/common/pdf/sustainability/data/2024/2024_07_01.pdf	
DXレポート 2024	https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/dxreport/index.html	



JFE

Copyright © 2025 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい